

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
理科	生物基礎	2	2年 普通科 スタンダード	必修	高等学校 生物基礎 (第一学習社)	

学習目標	生物や生物現象において、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を育成する。 (3)生物や生物現象に主体的に関わり、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 生物の共通性と多様性を始め、遺伝情報とDNA、神経系と内分泌系、生態系とその保全についてなど、各単元の基本的な概念や原理を理解している。 また、観察・実験などに関する記録や基本操作の技能を身につけている。
	「思考・判断・表現」 生物に関する現象の中に問題を見だし、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 身に起こる現象や、身のまわりの環境の変化に疑問を抱き、科学的に考察しようとしている。
評価の方法	「知識・技能」 小テストや定期考査、実験中の器具等の操作やレポートの内容で判断。
	「思考・判断・表現」 実験・観察のレポートの内容や定期考査で判断。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや、課題の提出物。

学期	学習計画および内容
1 学期	第1章 生物の特徴 ・すべての生物に共通する特徴を理解する。 ・生物が共通する特徴をもつ理由を理解する。 中間考査 実験(顕微鏡の扱い方とスケッチ) 第2章 遺伝子とその働き ・DNAの構造の特徴を理解する。 ・DNAは細胞分裂に伴って複製・分配され、からだを構成するすべての細胞は同じ遺伝情報をもつことを理解する。 期末考査
2 学期	第3章 ヒトのからだの調節 ・体内における情報の伝達とからだの調節の関係を理解する。 ・体内環境が維持されるしくみを理解する。 中間考査 実験(浸透圧による細胞の変化、白血球の観察) 第4章 植生と遷移 ・陸上には森林や草原など、さまざまな植生がみられることを理解する。 ・植生は、周囲の環境と互いに関わりをもちながら、移り変わっていくことを理解する。 期末考査
3 学期	第5章 生態系とその保全 ・生態系の成り立ちと生態系を構成する生物種の多様性について理解する。 ・生態系における生物間の関係性や、それが生態系へ与える影響について理解する。 学年末考査

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--